

平成28年度公共事業事後評価調書

1. 事業説明シート(1)

(区分) **国補** 県単

事業名	かんがい排水事業(国補)		事業箇所	北杜市・韮崎市・甲斐市		地区名	茅ヶ岳	事業主体	山梨県
(1)事業着手年度	H3年度	(2)事業期間	H3年度~H23年度	(3)完了後経過年数	5年	(4)総事業費	5,842百万円		
(5)事業着手時点の課題・背景						(8)事業位置図等			
<p>本地区は茅ヶ岳山麓に広がる塩川左岸河岸段丘上に位置し、土壌は火山性の軽焦土と重粘土が入り組んでいる。気候は内陸性で冬は寒冷で夏は高温である。年間降水量は1,024mmと少なく、農業用水は天水に依存しているため度々干ばつの被害を受けていた。</p> <p>このため、塩川上流に建設された塩川ダムからパイプラインで農業用水を導水することで常習的な水不足を改善し、農業経営の高度化・安定化を図るとともに、用水受益地内への新たな担い手の確保と地域農業の活性化を図ることを目的とし本事業を実施した。</p>									
(6)事業着手時点で想定した整備目標・効果									
<p>(事前評価未実施)</p> <p><input type="checkbox"/> 主要目標 農業用排水能力の向上</p> <p><input type="checkbox"/> 副次目標 農業生産力の向上</p> <p><input type="checkbox"/> 副次効果 農地の保全</p>									
(7)整備内容(目標達成の方法)									
事業量	畑地かんがい(用水)		A=520ha						
	管路工		L=39.0km						
			ファームボンド	6箇所					
			加圧機場	2箇所					

2. 評価シート（1）

(1) 事業貢献度 < (良) ・ 不良 >

(理由)

安定した農業用水の供給により畑地・樹園地が潤され、同時に大区画な畑地の整備や桑園から普通畑や樹園地への転換がなされたことにより、大規模な営農団地が形成されている。

① 主要目標 農業用排水能力の向上

指標	着手時点数値等	評価時点数値
施設老朽度(残耐用年数)	—	—
用排水能力向上率	—	皆増 ※1

□評価時点の数値に対する評価

- 施設老朽度は、新設工事のため判定しない。
- 畑地かんがい施設の新設により、安定した用水の供給が可能となった。
(従前は天水に頼っていたが、畑地かんがい施設により年間約230万tの用水が供給されている。)
- ※1 畑地かんがい施設を新設したため、用排水能力向上率は皆増と表記した。

② 副次目標 農業生産力の向上

指標	着手時点数値等	評価時点数値
面積当たり農業所得増加額	2,243千円/ha ※2	2,613千円/ha

□評価時点の数値に対する評価

- 農業所得の増加額が、評価基準値2,426千円/haを満たしている。
(養蚕から野菜や果樹への転換などにより、農業所得が増額となった。)
- ※2 着手時は評価基準値を設定していなかった。

③ 副次効果

項目	内容
農地の保全	安定した農業用水の供給により、優良農地が保全されている。

④ その他の事業効果の発現状況

- 関連事業の整備とともに、畑地かんがい施設を整備したことにより、農業生産法人等の新たな担い手による施設栽培や醸造用ぶどうの栽培が可能となり、地元雇用の創出にもつながっている。
- 安定的に良質な農業用水の供給が可能になったことから、高品質な作物の栽培が可能となり、農家の営農意欲が高まっている。

(2) 費用対効果分析の算定基礎となった要因等の変化 < (有) ・ 無 >

項目	着手時点の計画	事後評価時点の実績
総事業費	3,780百万円	5,842百万円
工期	H3~H15	H3~H23
経済効率性	費用	10,336百万円
	便益	10,567百万円
	B/C	1.02
		1.10

※ 平成18年度再々評価地区

総事業費 5,758百万円、工期H3~H20に見直し

※ B/Cは関連事業を含んで算定している。

(要因変化の分析)

- 総事業費：
 - ファームポンドへのゴミ混入及び藻類の発生防止のため、屋根の追加設置による工事費の増
 - 幹線管路工を林地から道路下に変更したことによる延長増による工事費、補償費の増
- 工期： 関連事業（明野地区）に係る埋蔵文化財発掘調査の影響による工期の延長

(3) 事業実施による環境の変化

① 自然環境への影響

- 営農条件が改善されたことで耕作放棄地の発生防止につながり地域の良好な農村景観が保たれている。

② 生活・居住環境等への影響

- なし

③ 環境保全対策の効果の発現状況（措置を講じた場合）

- なし

(4) 社会経済情勢の変化が事業に及ぼした影響

① 社会経済状況の変化

- なし

② 関連計画・関連事業の状況の変化

- なし

③ 事業環境等の変化

- なし

評価シート（2）

<p>(5) 今後の事後評価の必要性 〈 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 〉</p>	<p>(7) 同種事業の計画・調査のあり方の見直しの必要性 〈 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 〉</p>
<p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 当該事業により農業用水の確保がなされたことにより、企業の農業参入や高付加価値農業が展開されており、十分な効果が発現されている。 また、整備された施設は、管理主体である茅ヶ岳土地改良区連合により、長寿命化とライフサイクルコストの低減を図るための維持管理を行っていくことから、今後の事後評価は必要ないと思われる。 <p><input type="checkbox"/> 「有」の場合の実施時期及び方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 時期： 年度 ・ 方法： 	<p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> なし <p>(具体的反映策)</p> <ul style="list-style-type: none"> なし
<p>(6) 本事業における改善措置の必要性 〈 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 〉</p>	<p>(8) 事業評価手法の見直しの必要性 〈 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 〉</p>
<p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> なし <p>(具体的改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> なし <p>(既に実施した改善策の内容と効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> なし 	<p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> なし <p>(具体的反映策)</p> <ul style="list-style-type: none"> なし
	<p>(9) その他特筆すべき事項 〈 <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 安定した農業用水の供給により、企業の農業参入が拡大し、新たに約200名の雇用が創出されている。 果樹のハウス栽培や観光農園など、収益性が高い農業が展開されている。

県営かんがい排水事業 茅ヶ岳地区



凡例	
管路工	
ファームポンド	
加圧機場	
高速道路	
国道	
県道・主要地方道	
広域農道	

凡例	
	市町村界
	用水区域
	用水路
	分水工
	ファームポンド
	加圧機場
	加圧機場
	分水工
	変電所

至
甲府市



3号ファームポンド

塩川ダムから導水した用水をファームポンドに貯水し、受益地のほ場へ配水する。



4号ファームポンド



管路工 (水管橋)
(塩川ダム直下放水路)

4-1号ファームポンド・加圧機場



配水施設・電気施設

